



支部だより

# 霞

2023年12月 第61号

東洋大学浦水会（保護者会）埼玉県南支部

支部長 大竹 基之

## 支部長挨拶



## 大竹 基之（文学部 4年 保護者）

浦水会埼玉県南支部の皆さん、こんにちは！

2023年7月の総会で新支部長に就かせて頂きました大竹基之です。新しい体制にて今年度の活動を始めさせて頂きました。

9月30日に4年ぶりの研修旅行を行いました。たくさんの方にご参加頂き、楽しい1日を過ごせました。

今年は支部活動で2つの変革を行います。

1つは研修旅行を春開催に移行します。これまで研修旅行は春から計画し、秋開催でしたが、7月に役員交代があるため、卒業となる役員さんは参加できない課題がありました。今年度は我々支部役員の負担が増えますが、春にもう一度行い、計画から実行までを1年の活動期間に行えるように切替えます。

もう1つは支部体制の見直しです。事務局を廃止し役員さんの負担を軽減して参ります。

より多くの方が参加しやすい活動に取組んで参ります。ご興味ありましたら、是非、ご参加頂けますと嬉しいです。

## 就職講演会

7月16日(日)ロイヤルパインズホテル浦和にて  
支部総会、就職講演会、懇親会が行われました

## 懇親会



### 木之本敬介先生 プロフィール

1961年生まれ。東京都出身、早稲田大学政経学部卒。1986年朝日新聞社に入社し、政治部記者や採用担当部長などを経て、就活サイト「あさがくナビ」編集長を10年間務める。今夏、就職情報会社・学情のエグゼクティブアドバイザーに就任。国家資格・キャリアコンサルタント。

7月16日(日)、ロイヤルパインズホテル浦和プラチナルームにて就職講演会がありました。「今どきの就活 親はどうする？ 3大NGと親にしかできないこと」と題した、朝日学情ナビ前編集長の木之本敬介先生の講演でした。

今回も対面とオンラインのハイブリット公演で、私は対面で参加しました。講演は就活生の親としての心構えを中心に、就活の最新事情から失敗しない企業選びまで盛りだくさんの内容でした。大学入学当初から、就活を気にしている我が子を見て大学生活を楽しめばいいのに、と思っていましたが、親世代(バブル世代)とは異次元な今の就活事情を聞いて、納得しました。厳しい社会の荒波に真っ向から立ち向かう就活生に、親としてどう寄り添って乗り切ればいいのか、学びが多かったです。

本人が納得した仕事に就くためにも、過干渉にならずに、関心を持ってさりげなく就活を支えたいと思いました。つい、お節介な口を挟みがちな私には全く自信がありませんが、バシッと先生

に仰っていただいて、今後、全ての面において心していこうと思えました。有意義な時間をありがとうございました。

丸岡広美(生命科学部 2年 保護者)



先日の就職講演会後の大学保護者会の懇親会は、木之本先生の貴重なアドバイスとともに、楽しいひとときを過ごすことができました。コロナ禍が終息し、ロイヤルパインズホテルで開催されたこの懇親会では、4年ぶりにアルコールと豪華ビュッフェのディナーが支部会員の皆様に喜んでいただけました。

保護者の方々との交流は、新しいつながりを築く素晴らしい場となりました。埼玉南部の地域の方々が集まり、笑顔と温かい雰囲気になりました。テーブルを囲みながら、子どもたちの進路や学生生活について情報交換が行われ、共通の話題で盛り上がりました。

初めての参加者も多く、緊張している様子も見られましたが、親しみやすい雰囲気が、皆を和ませていました。

参加者たちが交流する中で、他の保護者の経験や知識を聞くことで、新たな示唆を得ることができました。これらの貴重な情報は、子供たちの未来に対するサポートとなるでしょう。

楽しい時間を提供していただき木之本先生と保護者の皆様に貴重な繋がりができたことを心から感謝します。このような懇親会が今後も続けられることを願いつつ、次回の開催を楽しみにしています。

星龍登(国際学部 4年 保護者)



